

わたしと看護 Vol.05

婦人科病棟 4年目

笑顔と安心のために



アピランスケア風景

婦人科病棟では手術や抗がん剤、放射線治療を受ける女性の患者さんが入院されています。抗がん剤の種類によっては髪が抜けたり、爪のトラブルなど女性にとって辛い副作用が出現することもあります。手術では子宮を摘出することによる喪失感や精神的苦痛を感じる患者さんも少なくはありません。

そのような患者さんに対して少しでも不安を取り除き、安心して治療に臨めるように日頃の患者さんとの関わりを大切にしています。時には多職種とも相談し、その人らしく今まで通りの生活に戻れるようにアピランスケア（外見に対するケア）の説明や日常生活で注意することなど、患者さんの立場に立って一緒に考えることも看護師の大切な役割です。

入院患者さんにとって一番近い存在であるからこそ、安心できる存在、頼れる存在となれるよう日々学びを深めながら精進していきたいと考えています。